高等学校国語解答用紙（解答例）

その2

受検番号	
氏名	

［三］

(三) A	堀河天皇のご病気は回復していらっしゃっていたけれども
(三) B	堀河天皇がこの萩の花を御覧になったら、どのようにそのすばらしさをお褒めになったであろうか。
(三) C	萩の戸に以前と様子も変わらず咲く花を見るにつけても、昔を偲ぶ私の袖は涙の露に濡れることだ。
(四)	「まゐらせ」謙譲・作者から殿 「おぼし」尊敬・作者から堀河天皇
(五)	人々と一緒にあちこちを見て歩き回ると、昔のことばかりが思い出されるにちがいないので、出かけることに気が進まないでいるという心情。
(六) ア	「萩の戸に」の歌を、かつてともに宮中に出仕していて今は里に下がっている人の元へ送ったところ、ということ。
(六) イ	「萩の戸に」の歌を口に出そうにも自分と同じ思いの人がいないし、天皇が即位したばかりなのに前の天皇を偲ぶ歌が人に漏れるのも具合が悪く、かつてともに宮中に出仕していた人なら里で昔のことを思い続けていらっしゃるだろうと思われたから。
(七)	お仕えしていた堀河天皇が亡くなり、当時の人が誰もいない中に、自分だけが昔のまま再び鳥羽天皇にお仕えしているということ。
(八)	それまでは女性達は少なくとも公の場では漢詩文を書いたり読んだりすることを許されていなかったが、かなの発明によって感情を細やかに表現したり、自己の内面を直截に表白することができるようになった。また、藤原家が政治の権力を握っていた当時においては、政治的に出世することを断念し、学問や文学の世界で出世を目指すしかなかった父祖が天皇家と外戚関係を結ぶために、熟心に教育を施したので、女性達が高い教養を身につけていたということ。
(九)	尚侍　典侍　掌侍

［四］

(一) (a)	みづから
(一) (b)	をはる
(一) (c)	こたへて
(一) (d)	ここに
(二)	孟嘗君人をして禮貌せしめ
(三)	孟嘗君から賢者として礼遇されたことに対して、恩義を感じ、それに応えなければならないと思ったから。
(四)	そして、薛もまた身の程をわきまえていない。
(五)	甚　固
(六)	薛の置かれた状況を、客観的事実として斉王に伝えるだけで、王自らに薛の重要性に気付かせ、援軍を送るように仕向けた点。
(七)	任不二獨リ在ルノミナラ一レ所ニ説ク亦タ在リ二説ク者一ニ
(八)	孟嘗君が、秦の昭王に捕らえられたとき、多数召し抱えていた食客の中に、狗の真似をして忍び込み、物を盗むことのできる者と、鶏の鳴き真似ができる者がおり、これらの人物の活躍により、秦から逃れることができたという「鶏鳴狗盗」の故事。